

## 学長定例記者会見要項

日 時： 令和5年8月3日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

### 発表事項

1. 山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター 新庄東高等学校との連携協定締結  
～国内の高等学校で初めてのアントレ教育コース開設を支援～
2. 第16回山形大学高校生朗読コンクール本選出場者が決定しました
3. 山形大学医学部は創立50周年を迎えました
4. 附属幼稚園 創立120周年事業において「附属幼稚園の大型遊具」更新の募金を開始
5. 「山形五堰」のゆるキャラを作ろう！～YU★STEAMの小学生対象プログラム～  

6. (公社)日本動物学会山形大会にて一般向けイベントを開催  
～「一般公開シンポジウム」と「動物学ひろば」～
7. 蔵王山東麓のラハール堆積物の分布と特性解明を目的とした重機トレンチ掘削調査
8. 地域との協働でカーボンニュートラルの実現へ  
～飯豊町との協働から「やまがたモデル」への展開～

### お知らせ

1. 第2回山形大学異分野交流学会を開催します
2. アフリカ農業従事者の来日研修が山形大学農学部で開始

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和5年9月7日（木） 11：00～11：45

場 所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

## 学長定例記者会見（8月3日）発表

### 1. 山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター 新庄東高等学校との連携協定締結 ～国内の高等学校で初めてのアントレ教育コース開設を支援～

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター長  
学校法人新庄学園新庄東高等学校理事長・校長

おの でら ただし  
小野寺 忠司  
たみや くにひこ  
田宮 邦彦

### 2. 第16回山形大学高校生朗読コンクール本選出場者が決定しました

学術研究院 教授（日本文学）  
人文社会科学部 1年  
農学部 1年  
理学部 2年

やまもと はるふみ  
山本 陽史  
あじき あかり  
安喰 明佳里  
うめだ こうたろう  
梅田 孝太郎  
せきた こうせい  
関田 康誠

### 3. 山形大学医学部は創立50周年を迎えました

医学部長

うえの よしゆき  
上野 義之

### 4. 附属幼稚園 創立120周年事業において「附属幼稚園の大型遊具」更新の募金を開始

附属学校運営部長

みうら としかず  
三浦 登志一

### 5. 「山形五堰」のゆるキャラを作ろう！～YU★STEAMの小学生対象プログラム～

山形大学地域共創STEAM教育推進センター協力教員／  
学術研究院（人文社会科学部担当）准教授  
地域教育文化学部 1年

おぼた けいすけ  
小幡 圭祐  
はが ひより  
芳賀 日和



### 6. (公社)日本動物学会山形大会にて一般向けイベントを開催

～「一般公開シンポジウム」と「動物学ひろば」～

日本動物学会山形大会実行委員長／学術研究院教授（理学部主担当）  
日本動物学会山形大会実行委員／学術研究院講師（理学部主担当）  
日本動物学会山形大会実行委員／NPOやまがたヤマネ研究会

わたなべ あきひこ  
渡邊 明彦  
なかうち ゆうに  
中内 祐二  
なかむら ゆめな  
中村 夢奈

### 7. 蔵王山東麓のラハール堆積物の分布と特性解明を目的とした重機トレンチ掘削調査

学術研究院教授（理学部主担当）  
理学部 4年

ばん まきお  
伴 雅雄  
ふじわら ひろと  
藤原 弘人

### 8. 地域との協働でカーボンニュートラルの実現へ

～飯豊町との協働から「やまがたモデル」への展開～

副学長  
飯豊町長  
YU-SDGs 連携研究員・飯豊町地域おこし協力隊

はやしだ みつひろ  
林田 光祐  
ごとう こうへい  
後藤 幸平  
おの ゆうたろう  
小野 優太郎

令和5年（2023年）8月3日

## 山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター 新庄東高等学校との連携協定締結 ～高校在学中に起業を経験できるアントレ教育コース開設を支援～

### 【本件のポイント】

- アントレプレナーシップ教育研究センターは、本日、新庄東高等学校との間で「アントレプレナーシップ教育に関する協定書」を締結しました。
- 地域産業の活性化に繋がる人材の育成を目指し、協働して高校性へのアントレプレナーシップ教育を実施することを目的とします。
- 同センターでは、2024年度に新庄東高等学校が開設する、高校在学中に起業や海外インターンシップを経験できるアントレプレナーシップ教育を含む新コース立ち上げを全面支援します。



### 【概要】

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター（以下、「アントレセンター」という）は、学校法人新庄学園新庄東高等学校（以下「新庄東高」という）との間で、アントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成や経営人材の育成を図るとともに、地域産業の活性化に繋がる人材の育成を目指し、協働してアントレプレナーシップ教育を実施することを目的として、連携協定（以下「本協定」という。）を締結しました。なお、本協定の有効期間は2026年3月31日までとなります。

#### （背景・目的）

高校生を対象に起業家マインドの醸成を図ることは、地域課題を自分ごととして捉え、解決できる能力を有する人材を育成するために重要な教育活動である。高校生へのアントレプレナーシップ教育の拡大は文部科学省の指針にもあり、アントレセンターとしては、同省 Edge-Prime Initiative 事業を活用し今年度実施している、鶴岡工業高等学校へのプログラム提供に続き、県内全域への展開に向けたロールモデルとすべく重点的な連携を推進する。

#### （連携・協力事項）

- 山形大学「i-HOPE」新事業創出イノベーションプログラムを活用した指導教員の育成（2023年度新庄東高教員4名が受講、文科省 EDGE-PRIME Initiative 事業を活用）
- 新庄東高のアントレプレナーシップ教育コース開始（2024年度～）に向けた、カリキュラム検討等の支援
- 新庄東高アントレプレナーシップ教育における教育プログラム提供

#### お問い合わせ

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター 齋藤

TEL 023-628-4075 メール [yu-entre@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:yu-entre@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

**【協定機関の概要】**

○学校法人新庄学園新庄東高等学校

理事長・校長 | 田宮 邦彦

創立年月日 | 昭和 40 (1965) 年 4 月 16 日

所在地 | 山形県新庄市松本 596 番地

校訓 | 自らの手で人生を開拓しよう

それは努力によって そして方法を考えて すべて敬虔な態度で

○山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター

センター長 | 小野寺 忠司 (教授)

設立年月日 | 令和 (2022) 4 年 4 月 (令和 5 年 4 月から現センター名に変更)

所在地 | 山形市小白川町一丁目 4 番 12 号 (小白川キャンパス人文社会科学部 3 号館 8 階)

事業内容 | アントレプレナーシップ教育 (大学生、社会人、企業人、団体、中高生)

企業向けリーダーシップ教育、新事業創出教育

アントレプレナーシップに関する社会・地域との連携

令和5年(2023年)8月3日



# アントレプレナーシップ教育研究センター 新庄東高等学校と連携協定を締結

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター  
**小野寺 忠司 | センター長・教授**

学校法人新庄学園新庄東高等学校  
**田宮 邦彦 | 理事長・校長**

スタートアップ創出の基盤となる人材の量や多様性を増やすため、アントレプレナーシップ教育の機会を、将来設計の入り口である高校生等に拡大する。

### 高校生等へのアントレプレナーシップ教育の拡大方針：EDGE-PRIME Initiative※

※ Exploration and Development of Global Entrepreneurship for Primary, Middle and High School Students Initiative

全国各地で小中高生等に対するアントレプレナーシップ教育の機会を拡大すべく、産業界・自治体等の方々とも連携しながら、省庁横断で一体的に推進。

#### ① 拠点都市を中心とした面的展開

- ★ スタートアップ・エコシステム拠点都市  
大学発新産業創出プログラム (START)  
大学・エコシステム推進型【スタートアップ・エコシステム形成支援】  
(※拠点都市がある都道府県には、全国約1300万人の小中高生のうち、約760万人の小中高生が所在)

#### ② 各地での先端的な取組の展開

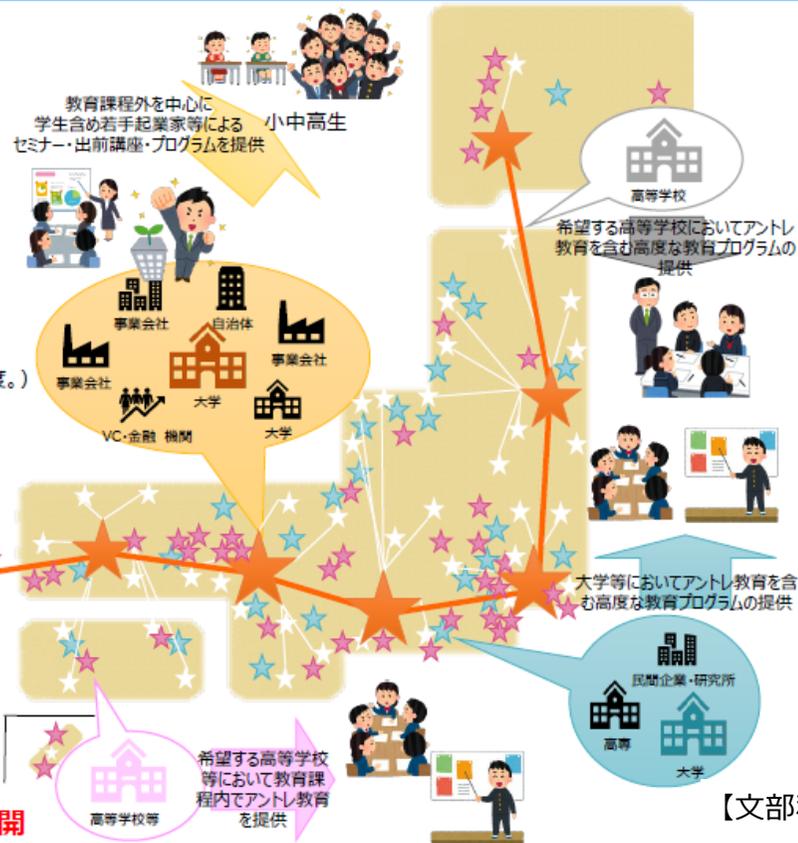
- ★ グローバルサイエンスキャンパス  
ジュニアドクター育成塾 実施機関  
(現在、実施機関は31都道府県に点在。受講者は年間約2,500人程度。)
- ☆ スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 支援事業  
(現在、指定校は47都道府県に点在。全国約5000校のうち、約200校が指定を受ける。)

#### ③ 各学校へのアントレ教育支援

- ★ 起業家教育事業 (中小企業庁)
  - ✓ 標準的カリキュラムを活用し、課程内でプログラムを実施する高等学校等を支援
  - ✓ HPにリストを掲載し、高等学校等に起業家を派遣

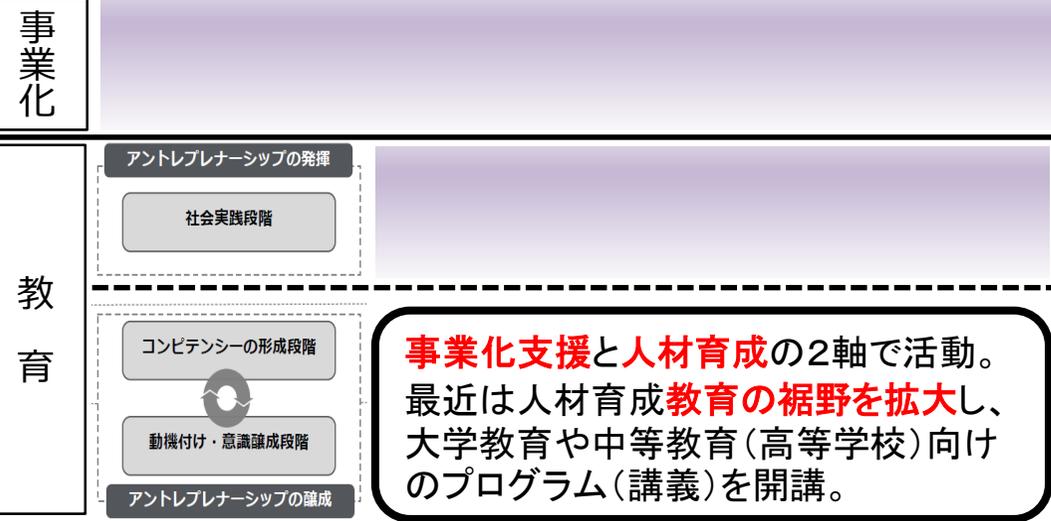
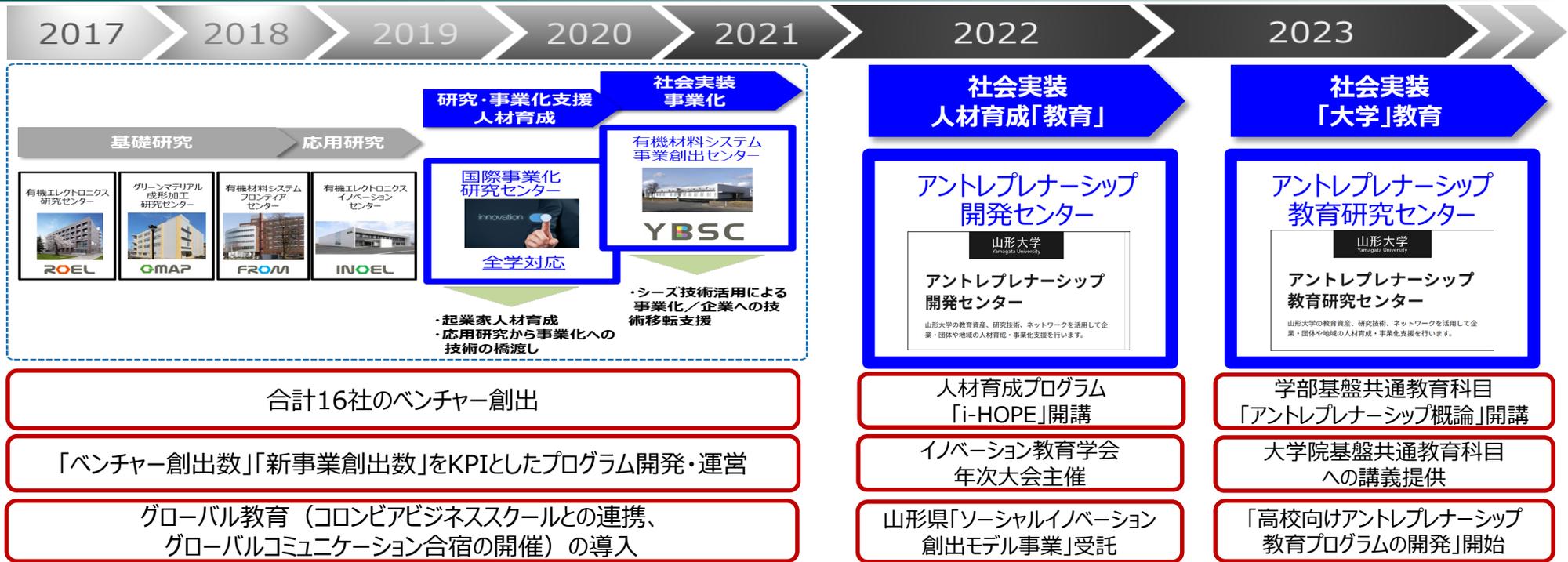
他、高専を中核とした地域×若者による新たな価値創造の促進や小・中・高等学校等におけるキャリア教育とも連携

デジタル田園都市構想とも連携し、全国各地へ展開



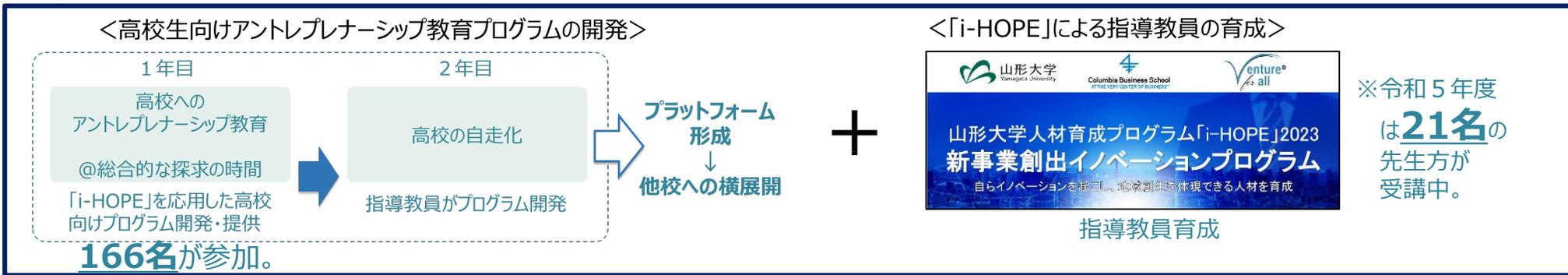
【文部科学ホームページより】

# 組織概要：組織と役割の変遷



# 山形大学における高校生向けの取り組み

## ■「総合的な探究の時間」を活用した高校向けアントレプレナーシップ教育プログラムの開発 (EDGE-PRIME Initiative)



## ■スーパーエンジニアプログラミングスクール ※令和3年度～（3年目）



## ■地域課題解決型やまがたイノベーションプログラム ※令和元年度～（5年目、今年度は10月実施予定）



# アントレプレナーシップ教育に関する協定

高校生向けアントレ教育実施



×



地域産業の活性化に繋がる人材の育成

# 協定における主な連携協力事項

---

- 山形大学「i-HOPE」新事業創出イノベーションプログラムを活用した指導教員育成支援  
(2023年度新庄東高教員4名受講、文科省EDGE PRIME Initiative事業を活用)
- 新庄東高のアントレプレナーシップ教育コース開始  
(2024年度～)に向けた、カリキュラム検討等の支援
- 新庄東高のアントレプレナーシップ教育における  
山形大学からの教育プログラム提供および出張／遠隔講義

# 新庄東高校の概要・特徴

---

- 沿革：昭和40年設立の最北地区唯一の私立高等学校  
平成21年よりEASTの4つのコースを設置
  
- 教育目標：とがためんこい子の育成
  - 1.誰にでもしっかりコミュニケーションをとれる
  - 2.自分の長所（個性）を磨く
  - 3.自ら動こうとする積極性を養う
  
- 教育内容：「体験型の高校」として他校よりも  
一歩進んだカリキュラム編成  
プレゼン授業・クリエイティブタイム・地域課題の探求  
国際交流の実施



# 新Eコース4つ柱

Entrepreneurship  
education

Adaptive  
Learning

E

Competition

English



# Entrepreneurship education

(アントレプレナーシップ教育)

## マインドセット

- 起業家精神の理解
- 概論

## スキルセット

- ビジネスデザイン
- 海外インターンシップ

## プラクティス

- ビジコンへの参加
- 社会実装



# Adaptive Learning

(個別最適化した学び)

AIの積極的な活用

個別に対応した課題の配信

学齢を超えた学び合い



# Competition

(各種コンペやコンテストにチャレンジ)

アントレプレナーシップの実践

社会実装・実践

各種ビジコンへの参加



# English

(英語教育の充実)

AIの積極的利用

CEFR、A2以上をの英語力の育成

海外教育旅行

令和5年（2023年）8月3日

## 第16回山形大学高校生朗読コンクール 本選出場者が決定しました

### 【本件のポイント】

- 第16回山形大学高校生朗読コンクールは、東北地区の高校生177名、26校（うち1校98名は授業の一環としてコンクールに応募。）からの応募があり、本選出場者15名が決定しました。
- 本選の朗読については、本学学生が動画コンテンツを制作し、YouTube山形大学公式チャンネルによる公開を予定しています。



### 【概要】

山形大学は「山形大学地域指向性向上プロジェクト」として、地域社会との連携をより深める事を目的に、第16回山形大学高校生朗読コンクールを開催しております。本コンクールの企画・運営は、基盤共通教育「イベントマネジメントとプレゼンでみかく社会人基礎力」（担当教員：山本陽史）を受講する本学学生が授業の一環として行い、YouTubeの動画撮影・編集は山形大学放送研究会の学生に協力してもらい実施しております。

第16回山形大学高校生朗読コンクールは東北地区の高校生177名（26校）からの応募があり、山形大学教員からなる予選審査委員会の選考により本選出場者15名が決定しました。

本選出場者15名が、高村光太郎著『智恵子抄』から、指定の箇所を朗読し、上位3名を山形大学学長賞として表彰します。

### 【本選について】

- 開催方法：録音審査 ※本選の朗読については、YouTube山形大学公式チャンネルによる公開を予定しています。
- スケジュール：8月25日（金） 本選課題録音データの提出締切  
9月29日（金） 予定 本選結果の通知  
10月中 本選審査・YouTube動画作成

表彰：本選の上位3名を山形大学学長賞として表彰します（表彰者へは、賞状等の記念品を進呈いたします）。

（本選のYouTubeによる公開について）

本選については、本選出場者の活躍を多くの方々にご覧いただきたく、動画作成・編集後、YouTube山形大学公式チャンネルによる一般公開を予定しています（第三者が評価やコメント等に機能を利用できない設定で公開します）。

### 第16回山形大学高校生朗読コンクール

#### 本選出場者（五十音順・敬称略）

- |                   |        |                  |        |
|-------------------|--------|------------------|--------|
| 1. 福島県立安積黎明高等学校   | 猪狩 咲也香 | 9. 宮城県仙台二華高等学校   | 高橋 明莉  |
| 2. 仙台市立仙台青陵中等教育学校 | 大成 彩未  | 10. 福島県立安積黎明高等学校 | 高橋 玲奈  |
| 3. 宮城県泉館山高等学校     | 川田 あかり | 11. 福島県立安積黎明高等学校 | 橋本 彩乃  |
| 4. 山形県立山形西高等学校    | 後藤 桜智  | 12. 福島県立安達高等学校   | 服部 亜由莉 |
| 5. 聖ウルスラ学院英智高等学校  | 斎藤 せり  | 13. 山形県立山形西高等学校  | 峯田 あかね |
| 6. 宮城県仙台三桜高等学校    | 新海 玲奈  | 14. 宮城県仙台二華高等学校  | 渡邊 日菜花 |
| 7. 羽黒高等学校         | 菅原 向陽  | 15. 福島県立安達高等学校   | 渡邊 悠菜  |
| 8. 宮城県仙台第二高等学校    | 鈴木 優香  |                  |        |

課題文：高村光太郎著『智恵子抄』（出場者が指定の箇所を朗読します。）

（お問い合わせ）山形大学研究情報部研究推進課

電話：023-628-4846

E-mail：yu-k-kenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

## 【背景】

山形大学は、平成 20 年度から東北地方の高校生を対象に山形大学高校生朗読コンクールを実施してきました。平成 24 年度から、東日本大震災により地域が分断された東北に、文化によるネットワークを構築することを目的に、山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」として、高校生朗読コンクールと同時に群読劇を開催してきました。平成 30 年度より地域社会との連携をより深める事を目的に、プロジェクト名を「山形大学地域指向性向上プロジェクト」に一新して、実施しています。

令和5年（2023年）8月3日

## 山形大学医学部は創立50周年を迎えました

### 【本件のポイント】

- 昭和48年（1973年）に創設された山形大学医学部は、今年で創立50周年を迎える
- 「自ら考える医療人の育成」をミッションとして、次の時代に必要となる医療・医学教育を念頭に置いた先駆的なチャレンジを続けていく
- 創立を記念して、記念事業を下記のとおり行う



### 【概要】

山形大学医学部は、新設医学部の一期校として昭和48年（1973年）9月に創立され、本年をもって50周年を迎えることになりました。また、医学部看護学科は、平成5年4月（1993年）に設立され、本年をもって30周年を迎えることになりました。

山形大学医学部は医療の進歩と地域の健康に貢献し続けてきました。この50年間に、6,000名を超える学生が勉学に励み、優れた医療人、研究者・教育者として社会に貢献してきたことは卒業生、在校生、教職員、そして本学医学部を支援していただいた多くのステークホルダーにとって大きな誇りであり、日頃から本学部の教育研究活動をご支援いただいている、関係者及び地域の皆様方のご支援の賜物と深くお礼申し上げます。

18歳人口の減少など、大学にとっては、これから非常に厳しい時代を迎えています。また、医療をめぐる環境は大きく変化しており、今後の「医療」のあり方について世の中からの要請されるものも変わることも予想されています。そのような厳しい社会の中でも、山形大学医学部が力強く前進していくために、私たちは、50周年の節目を、次の50年に向けて力強いスタートを切るきっかけと捉え、「自ら考える医療人の育成」をミッションとして、次の時代に必要となる医療・医学教育を念頭に置いて後追いではない先駆的なチャレンジをし続けていきます。

### 【創立50周年記念事業】

- 50周年記念講堂の整備  
本学医学部が開学して以来、6,000名を超える学生が勉学に励んできました。校舎は老朽化も進み、現在、改築補強計画が進められております。このうち、医学部大講義室については、改修を行い、「50周年記念講堂」として整備する予定です。
- YU-MAI センター及び図書館の設備補助  
YU-MAI センターとは、Yamagata University faculty of Medicine Advanced Innovation Center の略称です。医学部図書館等を改修するとともに、図書館に隣接する形で4階建ての新築建物を整備、学生が主体的に活動できる学習スペースを十分に確保し、学生のみならずメディカルスタッフや地域の医療関係者等の協働スペースとしての利用を可能にすべく、現在大学として整備を行っており、同施設の整備の一助となるよう、補助事業を展開していく予定です。
- 記念式典の開催  
本学部創立を記念した式典を、以下のとおり開催予定です。  
日 時 令和5年11月24日（金）午後  
場 所 ホテルメトロポリタン山形
- 50周年記念誌の作成  
本学部創立50周年を記念した冊子等について、現在作成を行っております。

## 【ご寄附のお願い】

山形大学医学部は、1973年（昭和48年）9月に新設医学部の一期校として地域医療の中核を担うべく設立され、人間性豊かな医療人・研究者等の育成、県内の地域医療を支えながら高度医療を行う医師・看護師の養成など、県内唯一の医育機関及び特定機能病院としてのミッションを背負い、山形県における地域医療の中核を担うべく日々活動しています。

山形大学医学部が次の50年に向けて益々の発展と飛躍の礎を築き上げ、さらに強固なものとするために、何卒、本趣旨にご理解、そしてご賛同いただき、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

<ご寄附のお申込み方法について>

以下のいずれかの方法によりお願いいたします。

1) 山形大学基金からのお手続き

山形大学基金のホームページから、「山形大学医学部創立50周年記念事業」を選択し、必要事項をご入力の上、お申込みください。

○山形大学基金 <https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/>

2) 郵便振替によるお手続き

パンフレット「山形大学医学部 教育研究支援基金へのご協力について」に備付の本学所定の払込取扱票によりお申し込みください。

お問い合わせ

山形大学医学部総務課庶務担当

TEL 023-628-5006 メール [yu-isosyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:yu-isosyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

令和5年（2023年）8月3日

## 附属幼稚園 創立120周年事業において 「附属幼稚園の大型遊具」更新の募金を開始

### 【本件のポイント】

- 山形大学附属幼稚園創立120周年を機会に、山形大学基金における募金窓口の「附属学校(園)支援基金」を利用して、寄付者の皆さまが附属幼稚園を指定し支援できるようにすることにより、本学の教育研究活動の充実に資するとともに、大学とステークホルダーとの関係性向上並びに寄付者の利便性の向上を図ります。

### 【概要】

現在本園の園庭東側に設置されております大型遊具ですが、創立100周年事業の一つとして設置され、これまで多くの子ども達が利用して参りました。園児にとっての遊びの環境は、遊びの質や広がりや左右する教材でもあります。ところが、この遊具は設置から20年が経過しようとしており、各部の老朽化が否めない状態となっております。耐用年数が過ぎている部品も数多く、毎年修繕費用がかさみ、今後はさらに修繕箇所が増えていくことが予想されます。そこで、創立120周年の機会にこれらの保育設備を更新やその他環境整備を行い、園児の安心・安全とさらなる日々の遊びの充実を図りたいと考えております。



### 【山形大学基金「附属学校(園)への支援」】

寄付者が附属学校(園)を指定し支援できるようにすることにより、教育研究活動の充実に資するとともに、大学とステークホルダーとの関係性向上並びに寄付者の利便性の向上を図り、令和3年2月24日に山形大学基金の5番目の寄付目的として設置されました。

お問い合わせ

附属幼稚園長 伊藤 顕吾

TEL 023-641-4446

メール [fuyo@fuyo.yamagata-u.ac.jp](mailto:fuyo@fuyo.yamagata-u.ac.jp)

# 「附属学校(園)支援基金」で附属幼稚園の大型遊具の更新を支援 ----- 附属幼稚園 創立120周年事業 -----

山形大学附属幼稚園創立120周年を機会に、山形大学基金の「附属学校(園)支援基金」で、子ども達が安全安心な環境の中で遊ぶことができるよう「大型遊具の更新」を考えております。

皆さまのご理解・ご支援をお願い申し上げます。

目標額を1,000万円としており、本学の建築・デザイン学科の学生や大学院生等によるオリジナルの遊具について発表願うコンペティションも計画し、山形大学附属幼稚園の園児たちにふさわしい遊具を設置したいと考えています。

## 山形大学附属幼稚園 創立120周年事業

### 大型遊具の更新・整備

園児にとっての遊びの環境は、遊びの質や広がり左右する教材



大型遊具の老朽化  
(設置後20年が経過)

遊びが制限!

更新・整備により次のような効果が期待できる。

- ★子ども達が安心・安全な環境の中で遊ぶことができる。
- ★さらなる遊びの充実
- ★遊びの質がさらに高まる。



**1 概要** 山形大学附属幼稚園の園庭東側に設置されております大型遊具は、創立100周年事業の一つとして設置され、これまで多くの子ども達が利用して参りました。園児にとっての遊びの環境は、遊びの質や広がり左右する教材でもあります。ところが、この遊具は設置から20年が経過しようとしており、各部の老朽化が否めない状態となっております。耐用年数が過ぎていた部品も数多く、毎年修繕費用がかさみ、今後はさらに修繕箇所が増えていくことが予想されます。

そこで、本年の附属幼稚園創立120周年を機会に、これらの保育設備を更新やその他環境整備を行い、園児の安心・安全とさらなる日々の遊びの充実を図りたいと考えております。

**2 寄付の内容** ①寄付者は、税法上の寄付金控除を受けることができます。  
②寄付者は、(a)振込用紙による金融機関への振込 (b)Web サイトから寄付申込

システム（クレジットカード決済，インターネットバンキング決済，コンビニ決済を利用）を介して（c）給与・賞与引落とし等により，寄付することができます。

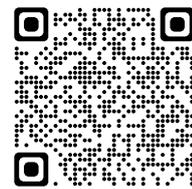
### 3 関係サイト

附属幼稚園創立 120 周年事業としての基金の Web サイトは [こちら](#)→



（山形大学基金「基金による事業」サイト）

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/project#con005>



（山形大学附属幼稚園）

<http://www.yamagata-u.ac.jp/you/>



（山形大学附属学校総合ページ）

<http://www.yamagata-u.ac.jp/fuzoku/>



#### 【お問い合わせ先】

山形大学附属幼稚園長 伊藤 顕吾

TEL 023-641-4446

メール [fuyo@fuyo.yamagata-u.ac.jp](mailto:fuyo@fuyo.yamagata-u.ac.jp)

山形大学附属幼稚園 創立120周年

保育設備更新と充実に向けた支援基金

## 趣 意 書

山形大学附属幼稚園の教育・研究につきまして、日頃よりご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。山形大学附属幼稚園は、令和5年度に創立120周年を迎えます。これまで附属幼稚園の維持・発展にご支援・ご協力いただきました関係各位に心から感謝申し上げます。

さて、現在本園の園庭東側に設置されております大型遊具ですが、創立100周年事業の一つとして設置され、これまで多くの子ども達が利用して参りました。園児にとっての遊びの環境は、遊びの質や広がりや左右する教材でもあります。ところが、この遊具は設置から20年が経過しようとしており、各部の老朽化が否めない状態となっております。耐用年数が過ぎている部品も数多く、毎年修繕費用がかさみ、今後はさらに修繕箇所が増えていくことが予想されます。そこで、創立120周年の機会にこれらの保育設備を更新やその他環境整備を行い、園児の安心・安全とさらなる日々の遊びの充実を図りたいと考えております。

皆様方におかれましては、本趣旨にご賛同を賜り山形大学附属幼稚園における教育の一層の充実のため、格段のご支援を下さいますよう謹んでお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様方のますますのご発展とご健勝を心より祈念いたします。

山形大学附属幼稚園支援基金事業委員会

委員長 三浦登志一（山形大学附属学校運営部長）

副委員長 伊藤 顕吾（山形大学附属幼稚園長）

渋谷 達郎（山形大学附属幼稚園PTA会長）

吉田 光伸（山形大学附属幼稚園学事奨励会会長）

令和5年（2023年）8月3日

## 「山形五堰」のゆるキャラを作ろう！ ～YU★STEAMの小学生対象プログラム～

### 【本件のポイント】

- 山形大学地域共創STEAM教育推進センター（YU★STEAM）では、山形市内を流れる「山形五堰（やまがたごせき）」のゆるキャラを作る小学生向けのイベントを実施します。
- 「山形五堰」は来年（2024年）で誕生からちょうど400年となります。山形大学小白川キャンパスの周囲にも「山形五堰」の一つ、「笹堰（ささぜき）」が流れています。本イベントは、「山形五堰」創設400年を迎えるにあたり、その存在を広く知ってもらうために企画しました。
- 小学生がデザインしたゆるキャラは、山形大学の学生の手でキャラクター化を行い、9月16日（土）～18日（月・祝）開催の「ななはく！」にてお披露目するとともに、イベント参加者にはグッズを作成し配付します。ゆるキャラは「ななはく！」で配布予定の「山形五堰」パンフレットや、「山形五堰」関連の催しなどで活用することを想定しています。



### 【概要】

山形大学小白川キャンパスの周りには笹堰（ささぜき）という水路があるのをみなさんをご存知でしょうか？実は笹堰を含む5つの水路＝「山形五堰（やまがたごせき）」は、来年（2024年）で誕生からちょうど400年になります。

そこで、「山形五堰」の歴史を学ぶとともに、まちの人びとにも「山形五堰」がどのようなものかを広く知ってもらうために、「山形五堰」のゆるキャラを作って、グッズにするイベントを開催します！

### 【開催要項】

- ・ 日程：2023年8月19日（土） 9時30分～12時00分
- ・ 場所：山形大学 SCITA センター
- ・ 講師：小幡圭祐（山形大学人文社会科学部）
- ・ 対象：小学4年生～6年生（定員20名） ※保護者の参加可能
- ・ 料金：500円
- ・ 申し込み：チラシに記載の QR コードもしくは公式 HP (<https://yu-steam.com/>) より応募できます。



### ※用語解説

1. スチーム (STEAM) : Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Art (芸術)、Mathematics (数学) の頭文字を取った教育概念。STEAM 分野を統合的に学び、実社会での問題発見・課題解決に活かしていくための分野横断的な教育です。
2. 山形五堰（やまがたごせき）：山形市内を流れる笹堰（ささぜき）・御殿堰（ごてんぜき）・八ヶ郷堰（はっかごうぜき）・宮町堰（みやまちぜき）・双月堰（そうつきぜき）の五つの堰（農業用水路）の総称で、江戸時代の1624年（寛永元）に、山形藩主・鳥居忠政（とりいたたまさ）が整備したとされています。
3. ななはく！：山形市七日町の山形まちづくり株式会社と山形大学附属博物館が毎年2月・9月に開催しているイベントで、3回目となる今回は2023年9月16日～18日に実施します。山形大学の学生サークル「まちの記憶を残し隊」が集めた地域の「記憶」を活用した展示を行うほか、さまざまな企画を開催します。  
<https://cherry.yum-archives.net/nanahaku/>



お問い合わせ：山形大学地域共創 STEAM 教育推進センター  
TEL：023-628-4506（SCITA センター内）  
メール [yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

歴史学×アート！？



やまがたごせき

# 「山形五堰」の

## ゆるキャラを作ろう！

山形大学小白川キャンパスの周りには<sup>ささげき</sup>笹堰という水路があるのをみなさんは知っていますか？

実は笹堰を含む5つの水路＝「山形五堰」は、来年（2024年）で誕生からちょうど400年になります。そこで、「山形五堰」の歴史を学ぶとともに、まちの人びとにも「山形五堰」がどのようなものかを広く知ってもらうために、「山形五堰」のゆるキャラを作って、グッズにするイベントを開催します！



おはたがはく  
小幡画伯



公式キャラクター  
にじ虹のワック

- ◆ 開催日程：2023年8月19日（土）
- ◆ 開催時間：午前（9時30分～12時00分）
- ◆ 場所：山形大学 SCITA センター
- ◆ 講師：小幡圭祐（山形大学人文社会科学部）
- ◆ 対象：小学4年生～6年生
- ◆ 保護者参加：参加可能
- ◆ 定員：20名
- ◆ 料金：500円



申込はこちらから！



※グッズは9月16日～18日に七日町で開催する「ななはく！」（<https://cherry.yum-archives.net/nanahaku/>）でのお渡しとなります。  
※定員になり次第受付を終了します。  
※駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。

山形大学地域共創 STEAM 教育推進センター（YU★STEAM）

TEL:023-628-4506（平日9時～17時） mail:yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp HP:<https://yu-steam.com/>

令和5年(2023年)8月3日

## (公社)日本動物学会山形大会にて一般向けイベントを開催 ～「一般公開シンポジウム」と「動物学ひろば」～

### 【本件のポイント】

- (公社)日本動物学会第94回山形大会(山形大学後援)において一般向け講演会「一般公開シンポジウム」と、ふれあい体験型イベント「動物学ひろば」を開催します。
- 「シンポジウム」では、身近な自然の中での動物の「変化」をとりあげ、4名の研究者が新たにわかった生命現象やそのしくみを紹介します。
- 「動物学ひろば」では動物学会員が日頃研究している動物を展示・公開し、小・中・高校生や小さな子供たちを含めた一般の方々とのふれあいを通して動物学の魅力を体験することができます。
- 日程：一般公開シンポジウム：9月9日(土)14:15～16:15、  
動物学ひろば：9月9日(土)10:00～16:00
- 場所：山形大学小白川キャンパス  
一般公開シンポジウム：理学部ふすまホール  
動物学ひろば：理学部SCITAセンター
- 対象：小・中・高生を含む一般の方すべて
- 料金：無料
- 事前参加登録：不要



### 【概要】

本年9月7～9日の日程で、山形大学小白川キャンパスで開催される(公社)日本動物学会第94回大会において、一般向けの講演会「一般公開シンポジウム」と、ふれあい体験型イベント「動物学ひろば」を開催します。

今回の「シンポジウム」では、自然の中における動物の「変化」をとりあげ、新たにわかった現象やそのしくみを紹介します。さまざまな動物学の各分野の研究を通して「発見する」楽しさとワクワク感を、参加者全員で共有したいと考え、「山形固有種カクレトミヨは古代湖のほとりでひっそりと穏やかに進化してきた!?」「動物のからだの形づくりの進化」「蝶々のクールビズ・ウォームビズ?!」「アカハライモリ:自然の再生と人の再生をつなぐもの」の4タイトルで講演をおこないます。

「動物学ひろば」は動物学会の会員が日頃研究で使っている実験動物を展示・公開して、小・中・高校生や小さな子供たちを含めた一般の方々とのふれあいを通して動物学の魅力を実感してもらうことを目的とし、以下のタイトルで12展示をおこないます。「身近なモデル節足動物オオヒメグモ」「ウニとナメクジウオを観察しよう!～湾岸生物教育研究所で提供している動物の紹介～」 「透けるとん生物を覗いてみよう」「さわって学ぼう!おカイコさま」「ホヤのいろいろ(動かないけど動物だよ)」「メダカってどんな生き物?～メダカと動物学～」 「クラゲの光を見てみよう」「淡水にもクラゲがいるんだよ!- その名は「マミズクラゲ」-」「美ら海(沖縄の海)の砂のすきまに暮らす動物の多様性」「三崎周辺の多様な海洋動物たち」「すみっこ大好き単細胞、ソライロラップムシ!」「水の中で暮らすカエルやイモリを観察しよう」

開催日時は9月9日(土)14:15～16:15(シンポジウム)、10:00～16:00(動物学ひろば)です。シンポジウムの会場定員は189名、動物学ひろばの参加人数に制限はありません。参加費は無料、参加予約は不要です。いずれの企画も、小・中・高生を含めた一般の全ての方を対象としています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

お問い合わせ

学術研究院教授 渡邊明彦（生物学）

TEL 023-628-4619 メール [watan@sci.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:watan@sci.kj.yamagata-u.ac.jp)

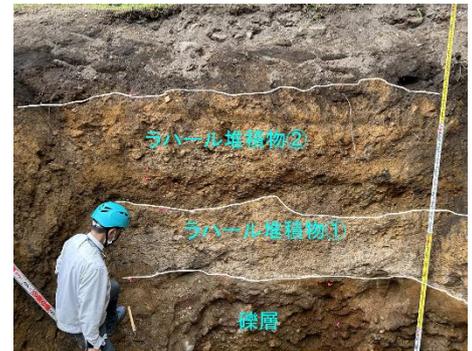
令和5年（2023年）8月3日

## 蔵王山東麓のラハール堆積物の分布と特性解明を目的とした 重機トレンチ掘削調査

### 【本件のポイント】

- 重機トレンチ掘削により、蔵王山東麓のラハール\*堆積物調査を実施。
- 文科省の次世代火山研究プロジェクトの一環として、中央開発（株）と共同で実施。（蔵王ジオパーク推進協議会が協力）
- 蔵王山東麓の過去最大級のラハール堆積物の分布と特性が解明される可能性があり、蔵王山の噴火災害軽減に大きく寄与。

\*火山性泥流/土石流



### 【概要】

蔵王山は、東北地方太平洋沖地震の後に噴火の前兆現象が認められ、今後の活動が注視されている。このような状況の下、蔵王山の過去の活動履歴の解明は、噴火災害の軽減に資する上で極めて重要である。

ラハールは火山災害をもたらす現象の中でも最も注意すべきものの一つであり、活動履歴を編む際に、その発生時期・特性・影響範囲を解明する必要がある。蔵王山の東麓地域においてはラハールによる堆積物が河川沿いに分布していることが明らかとなってきたが、その面的な分布については解明されていない。本研究では、ラハール堆積物の分布を解明するために、河川から離れた平坦面において重機トレンチ掘削調査を行っている。

### 【背景】

多くの人々が犠牲になった2014年の御嶽山の噴火を契機に、文部科学省は「次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト」を発足させ火山研究を促進させている。その研究課題のひとつに、全国の主要な活火山の活動履歴の高精度解明がある。蔵王山は主要火山に含まれ、山形大学のマグマ学・火山学クラスターや蔵王樹氷火山総合研究所が中心になって研究が進められている。災害を引き起こす危険性が高いラハールについても、堆積物調査を基に研究を進めてきたが、川沿いに露出している地層の調査に限定されていた。

一方、蔵王山の東麓にはラハール堆積物が分布していることが、河川沿いの調査から明らかとなってきたが、その面的な分布については未解明である。調査地点が位置する蔵王町はジオパーク推進協議会を立ち上げ、研究・教育・保全などに関する事業を推進しており、本学の蔵王山調査に大きな協力をいただいている。

### 【研究手法・研究成果】

山形大学は、蔵王山東麓の河川沿いに露出している地層の調査を基に、過去のラハール堆積物の調査を進め、過去約7千年間に少なくとも15回ラハールが発生したことなどを明らかにしてきた。しかし、山麓では地層が露出しているのは川沿いのみで、ラハール堆積物の分布を解明することに困難を来していた。本研究では、遠刈田北方の比較的平坦な地形を呈するエリアのほぼ中心部で重機トレンチ掘削調査を行い、目的の堆積物も発見されている。

### 【今後の展望】

発見された堆積物の発生時期、特性、分布範囲を解明する。さらに、古地形を推定し、堆積物をもたらしたラハールの規模と分布範囲、特に古地形との関連について検討する。これらが解明されれば、現在の地形環境におけるラハールの及ぶ範囲を推測することが可能となると考えられる。

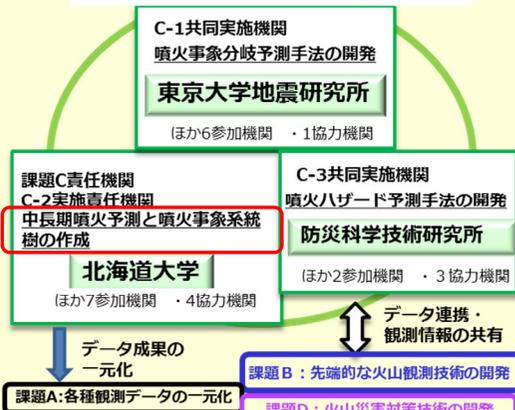
お問い合わせ

学術研究院教授 伴雅雄（火山学）／理学部主担当

TEL 023-628-4642 メール ban@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

蔵王山も  
重点火山

課題C：火山噴火の予測技術の開発



重点火山 蔵王山



ラハール  
(火山泥流)

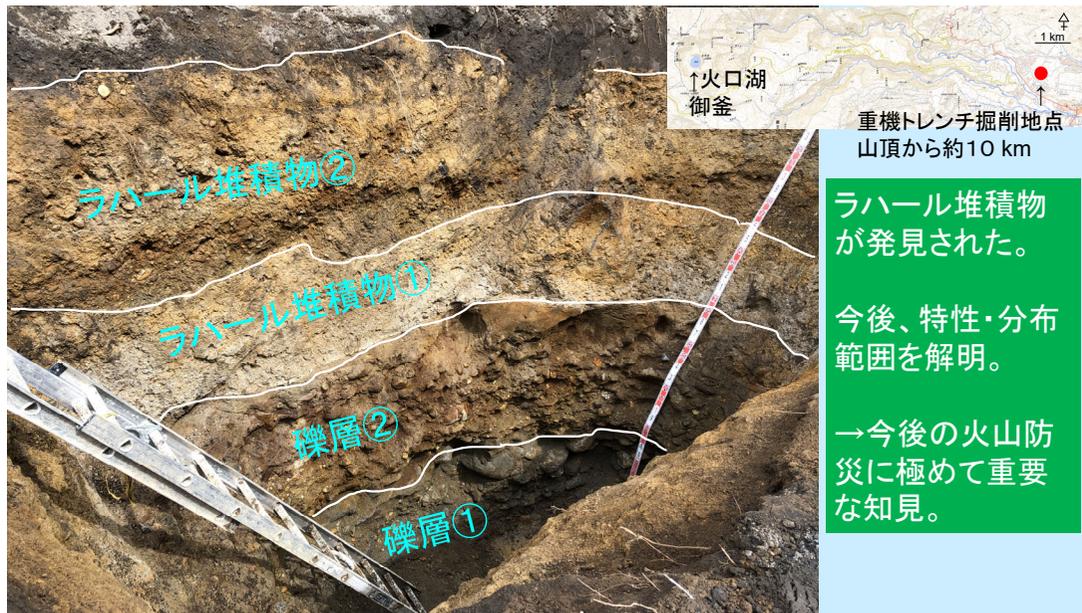
1985年ネバデルルス火山で噴火が発生し、山頂の雪が解け、火山性物質を巻き込み泥流化し、約45km離れたアルメロの街を覆いつくした。2万人以上が犠牲になった。



図 2.11 ネバデルルス火山1985年噴火による火山泥流の分布 [Sigurdsson and Carey, 1986]

これがきっかけとなり、火山泥流の危険性が世界的に知れ渡りました。

1926年5月24日  
十勝岳の噴火による融雪型火山泥流(大正泥流)  
十勝岳～上富良野20km  
死者144人





令和5年(2023年)8月3日

## 地域との協働でカーボンニュートラルの実現へ ～飯豊町との協働から「やまがたモデル」への展開～

### 【本件のポイント】

- 飯豊町と山形大学は、平成28年1月に連携・協力に関する包括協定を締結。
- 令和4年12月には、同町の地域おこし協力隊2名を「YU-SDGs連携研究員」に委嘱し、本学教員と共にカーボンニュートラルを実現する「やまがたモデル」構築のための調査・研究を開始。
- このたび、飯豊町独自の温室効果ガスの見える化を実現。今後は町民と一緒に脱炭素ビジョンの策定を進めるとともに、本取組みを県内他市町村への展開を図る。



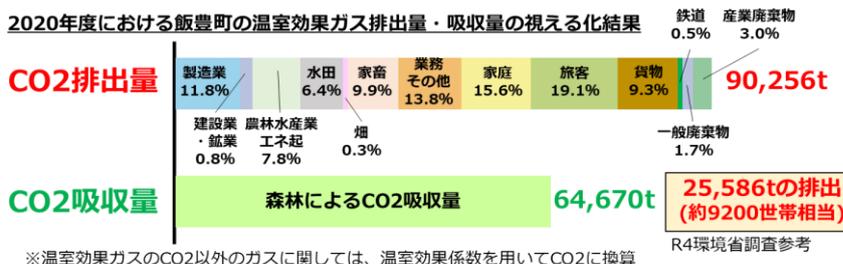
### 【概要】

飯豊町と山形大学は、平成28年1月に山形銀行とともに連携研究に関する包括協定を締結し、町民の人材の育成や農山村の魅力の発信、将来に向けた役割の構築等に協働を行ってまいりました。

この間、飯豊町では令和2年12月にゼロカーボンシティ宣言をし、ゼロカーボンを手段として地球温暖化抑制と地域活性化に繋がる取り組みを進め、山形大学では「地域創生」、「次世代形成」、「多文化共生」の3つを使命に、令和2年4月から「empower!」(エンパワー：力づける、力を与える)のコンセプトを掲げ、全学を挙げてSDGsの取組みを加速させているところです。

このような背景のもと、両者はSDGsについても飯豊町の小学校における出前授業や山形大学の講義への派遣等の協働を進める一方で、令和4年12月には同町の地域おこし協力隊である後藤武蔵さんと小野優太郎さんを山形大学連携研究員(YU-SDGs連携研究員)に委嘱し、本学教員と共にカーボンニュートラルを実現する「やまがたモデル」を構築するための調査・研究を開始しました。

このたび、環境省が提示している「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル 算定手法編」の資料をベースに山形大学の各専門の教員による指導のもと、下記2点の工夫を施し、右図の通り2020年度飯豊町における温室効果ガス排出量・吸収量を見える化しました。



### 工夫した点

- ① 飯豊町統計データやアンケートデータを活用することで、削減効果の実態を反映可能
- ② 飯豊町の特徴である田畑、畜産からの排出と森林吸収を考慮

結果として2020年時点で25,142t-CO<sub>2</sub>の排出があることやその排出の内「農林水産業」と「運輸」からの排出が多いことが分かりました。今後は、この見える化の完成と定期的に更新する仕組みの確立を目指し、並行して町民と一緒に脱炭素ビジョンの策定を進めるとともに、本取組みを県内他市町村への展開を実施します。

### お問い合わせ

・国立大学法人山形大学 SDGs 推進室 樋口浩朗 TEL:023-628-4867 E-Mail: yu-sdgs@jm.kj.yamagata-u.ac.jp  
 ・飯豊町 企画課 総合政策室 嶋貫大地 TEL:0238-87-0521 E-Mail: seisaku@town.iide.yamagata-jp



# 地域との協働で カーボンニュートラルの実現へ



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 本事業の背景・目的

## 飯豊町



- ✓ 令和2年12月にゼロカーボンシティ宣言
- ✓ ゼロカーボンを手段として地球温暖化抑制と地域活性化を目指す



## 山形大学



- ✓ 山形県内各地域のゼロカーボンを実現する「やまがたモデル」の構築
- ✓ 「やまがたモデル」による分野横断的な課題解決を目指す

## 目的

飯豊町を「モデル地域」として、地域の実情を踏まえたCO<sub>2</sub>の排出量と吸収量を「見える化」し、山形県のゼロカーボン達成に向けた「やまがたモデル」を構築する。

# 飯豊町独自の温室効果ガスの見える化

## 既存手法（環境省データ）の課題

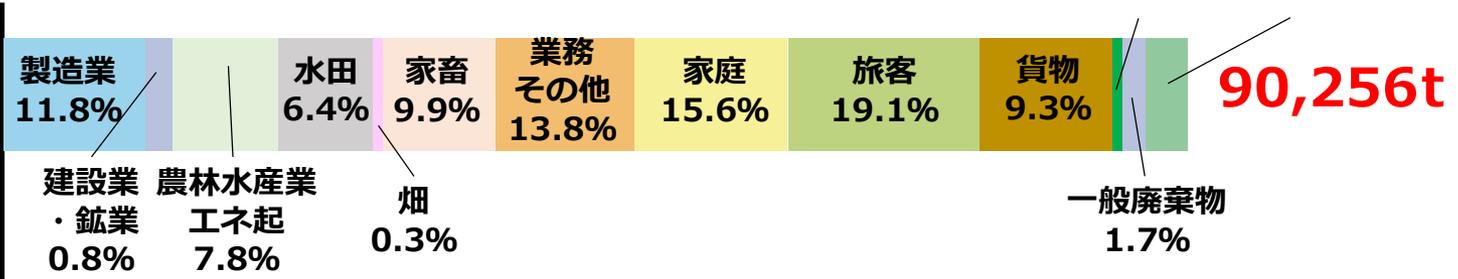
- 当該データは全国排出量按分のため
- ✓ 飯豊町で実施した脱炭素アクションによる削減効果を反映させることができない
  - ✓ エネルギー起源のみかつ全国平均的なデータのため飯豊町の実態を表現できていない

## 本取組の工夫点・特徴

- ✓ 飯豊町統計データを活用することで、脱炭素アクションによる削減効果の実態が反映される
  - 住民意識の向上・自分事化
- ✓ 田畑・畜産・森林の温室効果ガス排出量・吸収量を考慮
  - 地域の実情を踏まえた効果的な施策の展開

2020年度における飯豊町の温室効果ガス排出量・吸収量の見える化結果

### CO2排出量



### CO2吸収量



※温室効果ガスのCO2以外のガスに関しては、温室効果係数を用いてCO2に換算

R4環境省調査参考

# 今後の取り組み

## 見える化の完成および進化

- ✓ アンケート再実施による産業分野における排出量再算出
- ✓ 域内循環推進に向けたサプライチェーン排出量算出の検討
- ✓ 見える化結果を定期的に更新するためのデータ収集・整理方法の確立

## 本取組完了後の活用・展開

### 【飯豊町】

町民ワークショップなどを実施し、飯豊町における脱炭素ロードマップを作成

### 【山形大学】

整理した手法(やまがたモデル)を県内市町村へ展開し、県内のゼロカーボンを推進する

咲け、融合の花!

## 第2回山形大学異分野交流学会

日時 2023年8月29日(火)13:00~17:00

会場 山形大学中央図書館1階(山形市小白川町1-4-12)

※外部駐車場の利用または公共交通機関でお越しください。

現在、気候変動、食料・エネルギーなどの資源問題をはじめとする様々な地球規模の課題・社会問題が顕在化しており、これらを解決するレジリエントで安全・安心な社会の構築は欠かせません。ここに大学が貢献するには、人間や社会を総合的に理解しながら、課題解決へと向かうべく、分野を超えた「総合知」を創り上げ、活用していく必要があります。

山形大学は、約900人の多様な教員が活躍する総合大学です。あらゆる垣根を越えて、人と人、異なる知と知を“つなぐちから”を発揮し、多様な人々が出会い活躍する「イノベーション・コモンズ」として、山形大学は新たな知を提供していきます。

その分野を超えて共創するための場として、山形大学異分野交流学会を開催します。ここでは、本学の先進的研究拠点であるYU-COEの研究紹介と、幅広い分野にわたる連携を目指す方々が集うポスターセッションを行います。多くの方の連携に向けた議論へのご参加をお待ちしております。

山形大学異分野交流学会実行委員会

### スケジュール

- |             |               |          |
|-------------|---------------|----------|
| 13:00-13:05 | 開会あいさつ        | 玉手 英利 学長 |
| 13:05-15:00 | YU-COE(C)研究発表 | 各拠点リーダー  |
| 15:00-16:30 | ポスターセッション     |          |
- ※学内研究者向けに研究費申請、産学・地域連携、研究支援制度等の相談ブースを設置します。
- |             |           |  |
|-------------|-----------|--|
| 16:45-17:00 | 授賞式       |  |
| 17:15-      | 懇親会(厚生会館) |  |

### 参加申込みフォーム

参加費 **無料**  
(懇親会費2,000円)

対象 教職員、学生、企業、行政、市民等どなたでもご参加いただけます。

<https://forms.office.com/r/eSBbQKh6eP>



問い合わせ先

山形大学異分野交流学会 実行委員会 事務局 (担当:研究情報部 内藤)  
TEL:023-628-4839 E-mail: yu-k-kenki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

 山形大学  
Yamagata University

# YU-COE(C)研究発表

発表時間		YU-COE(C)研究拠点		担当当学部	発表者
13:05	- 13:25	先進レーザープロセッシング研究拠点		工学部	西山 宏昭
13:25	- 13:45	モニタリングから診断までを担うスマートオーラルヘルスマネージメント研究拠点		医学部	石川 恵生
13:45	- 14:05	細胞内鉄恒常性とミトコンドリア機能・疾患の国際研究拠点		医学部	田中 敦
14:05	- 14:15	休憩			
14:15	- 14:35	カーボン・ニュートラルを実現するテレワークロボットの研究拠点		工学部	多田隈 理一郎
14:35	- 14:55	山形大学カーボンニュートラル研究拠点 (YUCaN)		工学部	吉田 司

## ポスターセッション (コアタイム 1部 15:00-15:45, 2部 15:45-16:30)

No	部	担当当学部	発表者	演題	キーワード
1	1部	人文社会科学部	大杉 尚之	大学生向けSOSの出し方教育教材の作成	自殺対策,SOSの出し方教育,精神的健康
2	2部	人文社会科学部 学士課程基盤教育院 学士課程基盤教育院 エクステンションサービス推進本部	中澤 信幸 内海 由美子 今泉 智子 松田 陽	山形県における日本語教育の課題と取り組み	日本語教育,日本語教員養成,山形県,東北地方,多文化共生,社会人向け講座
3	1部	地域教育文化学部	鈴木 宏昭	学校理科室に関するDXソリューションの開発	理科室,DX,学校教育,ツール・システム開発
4	2部	地域教育文化学部	清水 香	運動時の循環応答の性差と年代差ー呼吸筋活動の増加に着目してー	呼吸筋,血圧応答,性差,年代差,加齢
5	1部	理学部	天羽 優子	The lowest frequency Raman spectra mode and Debye relaxation mode in alcohols and aprotic solvents probed by Raman scattering and Dielectric spectroscopy	液体,ラマン散乱,誘電緩和,相補性の破れ
6	2部	理学部	脇 克志	深層学習を用いた風力発電所でのドローン画像によるバードストライク検出	バードストライク,画像処理,深層学習,Python
7	1部	理学部	石崎 学	湿式プロセスを駆使した蓄電/発電デバイス	亜鉛二次電池,ペロブスカイト太陽電池,多孔性配高分子,カーボンナノチューブ
8	2部	理学部	松井 淳	高配向性アモルファスラメラ膜の創製	自己組織化,高次構造制御,バリア膜
9	1部	理学部	笠松 秀輔	不規則材料系の原子スケールシミュレーションと材料インフォマティクスへの展開	材料,スーパーコンピュータ,シミュレーション,インフォマティクス
10	2部	理学部	近藤 慎一	柔軟なヘテロジトピックセパターを用いたリチウム塩の選択的抽出	リチウム塩,抽出,イオン対
11	1部	理学部	澁田 未央	植物核におけるRNAポリメラーゼIIダイナミクスの観察	RNAポリメラーゼII,顕微鏡イメージング,被子植物,培養細胞
12	2部	理学部	渡邊 康紀	生体膜を分解するリパーゼの活性化メカニズム	生体膜,オルガネラ分解,リパーゼ
13	1部	学士課程基盤教育院	白石 哲也	魚醤の文化史学ー東アジア世界における飛鳥魚醤ー	東アジア,飛鳥,魚醤
14	1部	人文社会科学部	松本 剛	飛鳥の「魚醤塩辛」:消えゆく伝統食づくりと漁撈民のレジリエンシー	発酵食,保存食,飛鳥,魚醤,塩辛,気候変動
15	1部	理学部	奥野 貴士	飛鳥魚醤塩辛の"味"と"記憶"をデータで残す意味	味覚,記憶,データマイニング
16	2部	理学部	伴 雅雄	蔵王山東麓におけるラハール堆積物の重機トレンチ調査	蔵王山,ラハール,火山防災
17	2部	理学部	常松 佳恵	火山噴火の物理ー火山噴火災害の軽減を目指してー	火山噴火,岩塊,火山灰,衝撃波,3Dモデル
18	1部	農学部	ロベス・ラリー	蔵王山における森林のデジタル化	森林健康,キクイムシ,無人機器,画像分析,人工知能
19	2部	医学部	鍵水 健也	リアルワールド医療情報データベース構築	データサイエンス,医療情報,地域医療
20	1部	医学部	鈴木 修平	遺伝性腫瘍の研究ー治療・こころ・ゲノム 3つの視点からー	遺伝性腫瘍,家族性腫瘍,ゲノム
21	2部	医学部	浜本 洋	抗生物質ライソシンEの殺菌機序に関する解析	新規抗生物質,殺菌性,MRSA,カイク,メナキノ
22	1部	医学部	櫻田 香	異性への関心の有無と生命予後の関連ー山形県コホート研究	異性への関心,死亡,山形県コホート研究
23	2部	医学部	越智 陽城	多層ゲノム情報解析による腎損傷応答・再生メカニズムの研究	損傷応答,組織・器官再生,機能ゲノム
24	2部	医学部	小倉 次郎	S-ニトロシル化Protein Disulfide Isomeraseを標的とした神経変性疾患治療・予防への応用	Protein disulfide isomerase,酸化,修飾神経変性
25	1部	工学部	西山 宏昭	超短パルスレーザー駆動粒子集積プロセスによる機能性マイクロ構造描画	超短パルスレーザー,ナノ材料,マイクロデバイス
26	2部	工学部	大音 隆男	ハイブリッドナノ構造を用いた次世代発光デバイスの開拓	ナノ構造,マイクロLED,窒化物半導体,ペロブスカイト,プラズモニクス,光物性
27	1部	工学部	成田 克	古くて新しい炭化ケイ素(SiC):革新的結晶成長法の創出ー新規分野への展開	ワイドバンドギャップ半導体,4H-SiC,3C-SiC,結晶成長,省エネ
28	2部	工学部	江目 宏樹	熱および光エネルギー制御研究拠点の紹介	熱工学,ふく射伝熱,太陽光,ミスト,宇宙機熱制御
29	1部	工学部	原田 知親	意識せずに計測可能な睡眠状態計測システム・ストレス計測システム	睡眠,ストレス計測,無意識な計測
30	1部	工学部	原田 知親	山形大学ナセバース認定研究拠点のご紹介	ナセバース,コミュニケーションロボット,学生・企業との協業
31	2部	工学部	濱 定史	伝統的な建築ー地域技術を活かすデザイン	伝統技術,木造,茅葺き,民家,デザイン
32	1部	工学部	松井 弘之	実験・計算・データ科学の融合による有機半導体デバイス開発	機械学習,インクジェット印刷,薄膜,有機トランジスタ,センサ
33	2部	工学部	千葉 貴之	発光・発電するペロブスカイトナノ結晶の開発	ペロブスカイトナノ結晶,発光,発電
34	1部	農学部	佐藤 智	生ゴミー資源化、ヤマダイミズアブ! (2023)	生ごみゼロ社会,肥料と飼料不足,アメリカミズアブ
35	2部	農学部	張 海仲	多様なニーズに対応できる確率論的地震ハザード評価方法	地震ハザード評価,不確実性,地震動強さ指標,地盤増幅特性
36	1部	農学部	陳 奥飛	地域産豚肉ー豚肉加工品に対する地域住民の購買行動と意識	豚肉製品,地産地消,購買行動
37	2部	農学部	小林 翔	培養細胞を使用した食品由来の抗酸化物質の探索	抗酸化物質,レドックス,鉄依存的細胞死
38	1部	農学部	相蘇 春菜	樹木の樹体支持機能ーあて材と根元曲りの視点からー	木材組織学,樹木の成長と材質,重力応答
39	2部	農学部	五領田 小百合	それ、一緒に解決しませんか?ー行動経済学的手法を活用した効果検証ー	食と幸せ,ナッジ,因果推論,食品ロス削減,個別化栄養
40	1部	農学部	小峰 浩隆	気候変動下における、マダニ媒介感染症の生態学的背景の理解	気候変動,マダニ媒介感染症,野生動物,公衆衛生

令和5年8月3日

## アフリカ農業従事者の来日研修が山形大学農学部で開始

### 【本件のポイント】

- アフリカの稲作技術者に対して行う収穫後処理に関する研修
- 独立行政法人国際協力機構（JICA）と大学による研修事業で、稲作の収穫後処理技術を対象としたものは、国内で山形大学のみが実施



### 【概要】

令和5年8月21日（月）からアフリカ各国の研修生15名が本学農学部で開講する『アフリカ地域稲作収穫後処理コース』研修を受講します。本研修は山形県、鶴岡市、JA鶴岡、秋田県大潟村の協力を得て、稲作における収穫処理や栽培技術の学習に加え、稲刈りや籾摺り・品質検査などの実習、乾燥貯蔵施設、農業機械工場、灌漑施設の見学を行います。

農学部では、独立行政法人国際協力機構（JICA）と共同でアフリカ諸国を対象とした米生産に関する様々な研修や現地指導を実施してきました。研修最終日に各研修生がそれぞれの国が抱える稲作の収穫後処理に関する課題改善と技術普及プランの発表を行います。

### 【背景】

アフリカ開発会議（TICAD）において、日本政府はアフリカ諸国の稲作発展に貢献することを約束しています。このような背景のもとで、本学農学部と独立行政法人国際協力機構（JICA）は、平成20年からアフリカ諸国を対象にした米生産に関するさまざまな技術研修と現地指導を実施してきました。現在、稲作の収穫後処理技術を対象としたJICAと大学による研修事業は国内で山形大学のみが実施しています。

### 【研修スケジュール等】

★研修期間：令和5年8月21日（月）～9月29日（金）

★参加国：エチオピア、ガーナ、カメルーン、コンゴ、ザンビア、シオラレオネ、ニジェール、ブルンジ、ベナン、マダガスカル、マラウイ、モザンビーク、リベリア

★使用言語：英語・フランス語

★コーディネーター：片平 光彦 教授（農業機械学）、角田 憲一 准教授（土壌・肥料学）、佐々木 由佳 准教授（栽培土壌学）、小林 隆 准教授（植物病理学）

### 【今後の展望】

本学で得られた稲作での収穫後処理に関する知識や技術は、アフリカの多くの国々へと広がっています。山形大学では今後もこの研修事業を継続することで、アフリカの稲作発展に対して貢献していきたいと考えています。

お問い合わせ

学術研究院教授（農学部担当）片平 光彦／農学部研究・社会共創室担当 内田  
TEL 0235-28-2910 メール [yu-nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:yu-nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

**【参考：2022年度研修風景】**



J I C A 英 語 圏

月日	曜	午 前 (9:00~12:00)						月日	曜	午 後 (13:00~16:00)						
		内 容	担 当	同行者	場 所	車	出発時間			出 発 地	内 容	担 当	同行者	場 所	車	出発時間
8月14日	月							8月14日	月							
8月15日	火							8月15日	火							
8月16日	水	JICAブリーフィング 10:00~12:30	JICA		TIC			8月16日	水							
8月17日	木	Project Cycle Management (1)※8:30~12:30	JOCA 木村忠		TIC			8月17日	木	ブレイクアクションプラン準備 (1)	片平		TIC			
8月18日	金	Project Cycle Management (2)※8:30~12:30	JOCA 木村忠		TIC			8月18日	金	ブレイクアクションプラン準備 (2)	片平		TIC			
8月19日	土	Project Cycle Management (3)※8:30~12:30	JOCA 木村忠		TIC			8月19日	土							
8月20日	日							8月20日	日							
8月21日	月	学部挨拶・大学案内・自己紹介・研修の趣旨説明・スケジュール説明、大学の施設案内	渡部副学部長・チューター		農学部1号館2階会議室			8月21日	月	プログラムオリエンテーション(JICA)	JICA		農学部1号館2階会議室			
8月22日	火	ポストハーベストの問題分析(1)	チューター		5階リフレッシュルーム			8月22日	火	ポストハーベストの問題分析(2)	チューター		5階リフレッシュルーム			
8月23日	水	ブレイクアクションプランの紹介	チューター		5階リフレッシュルーム			8月23日	水	ブレイクアクションプランの分析	チューター		5階リフレッシュルーム			
8月24日	木	稲作のポストハーベスト(1)	片平		5階リフレッシュルーム			8月24日	木	圃場を中心とした稲作作業	佐々木		5階リフレッシュルーム			
8月25日	金	稲作のポストハーベスト(2)	片平		5階リフレッシュルーム			8月25日	金	収量と収量構成要素 / 鶴岡市長表敬訪問 16:30~	佐々木	○			農学部⇄鶴岡市役所	
8月26日	土							8月26日	土							
8月27日	日							8月27日	日							
8月28日	月	稲と水	渡部		5階リフレッシュルーム			8月28日	月	圃場試験計画(1)	佐々木		5階リフレッシュルーム			
8月29日	火	日本の灌漑	梶原		5階リフレッシュルーム			8月29日	火	圃場試験計画(2)	佐々木		5階リフレッシュルーム			
8月30日	水	月山ダム見学	梶原・片平		月山ダム	○	8:30	ホテル(学部経由)	8月30日	水	農業機械工場見学	片平・梶原	○	16:00	ホテル(学部経由)	
8月31日	木	水田農業研究所の研究内容紹介	水田農業試験場 中場		水田農業試験場	○	8:20	ホテル(学部経由)	8月31日	木	協同農業普及事業の概要と実際の普及活動について	庄内農業技術普及課	○	16:00	ホテル(学部経由)	
9月1日	金	水分と品質測定(実習)(1)	Tung先生、佐々木先生		1509実験室				9月1日	金	水分と品質測定(実習)(2)	Tung先生、佐々木先生				
9月2日	土	農業機械展見学	片平		山形ビッグウイング	○	8:20	ホテル(学部経由)13:30現地発	9月2日	土	地域理解「致道博物館」見学	CDN	○	17:00	農学部経由(教員下車)→致道博物館	
9月3日	日								9月3日	日						
9月4日	月	大規模稲作見学(秋田県大潟村)							9月4日	月	大規模稲作見学(秋田県大潟村)					
9月5日	火	大規模稲作見学(秋田県大潟村)	片平(バス同乗)			○	8:40	ホテル(学部経由)	9月5日	火	大規模稲作見学(秋田県大潟村)	片平(バス同乗)	○		ホテル(学部経由)	
9月6日	水	大規模稲作見学(秋田農試)			秋田県農業試験場				9月6日	水	大規模稲作見学(石井製作所)				石井製作所	
9月7日	木	営農からみたJAの役割について	JA鶴岡(宮守)		5階リフレッシュルーム				9月7日	木	JA鶴岡施設見学	JA鶴岡(宮守)	○	13:30	農学部、現地発16:00	
9月8日	金	適期収穫期などの重要性、適期判定法	佐々木		5階リフレッシュルーム				9月8日	金	収穫適期判定(実習)	佐々木	○	16:00	現地 雨天時中止	
9月9日	土								9月9日	土						
9月10日	日								9月10日	日						
9月11日	月	米の食味試験	㈱ファームフロンティア 藤井、茄子川		農学部1号館2階会議室				9月11日	月	日本の稲作の農業機械化(1)	片平			5階リフレッシュルーム	
9月12日	火	松ヶ岡開墾記念館見学	茄子川		松ヶ岡開墾記念館	○		ホテル(学部経由)	9月12日	火	酒田米業見学	茄子川	○	13:00	現地発16:00 学部経由	
9月13日	水	日本の稲作の農業機械化(2)	片平		5階リフレッシュルーム	○		ホテル(学部経由)	9月13日	水	アクションプラン準備(1)	チューター			5階リフレッシュルーム	
9月14日	木	米のカビ汚染防止のための管理	小林		5階リフレッシュルーム				9月14日	木	高坂農場圃場見学	小林(自家用車移動)	○	13:00	現地発16:00 雨天決行	
9月15日	金	アクションプラン準備(2)	チューター		5階リフレッシュルーム				9月15日	金	アクションプラン中間報告	チューター			5階リフレッシュルーム	
9月16日	土								9月16日	土						
9月17日	日								9月17日	日						
9月18日	月								9月18日	月						
9月19日	火								9月19日	火						
9月20日	水	アクションプラン準備(3)	チューター		5階リフレッシュルーム	○			9月20日	水	アクションプラン準備(4)	チューター			5階リフレッシュルーム	
9月21日	木	小型機械を用いた収穫調整(実習)	かくだ		高坂農場	○	8:30	ホテル 雨天決行	9月21日	木	水田の害虫、防除、生態系~日本と東南アジア	佐藤智			5階リフレッシュルーム	
9月22日	金	稲生理生態の基礎と栽培技術	茄子川		5階リフレッシュルーム				9月22日	金	アクションプラン準備(5)	チューター			5階リフレッシュルーム	
9月23日	土	わんぱく農業クラブ	佐々木 (←自家用車で移動→)	かくだ	高坂農場	○	8:30	ホテル、大雨中止	9月23日	土						
9月24日	日								9月24日	日						
9月25日	月	籾摺り機の性能評価(実習)(1)	片平		1257実験室				9月25日	月	籾摺り機の性能評価(実習)(2)	片平			1257実験室	
9月26日	火	Site Specific Nutrient Management(1)	かくだ		5階リフレッシュルーム				9月26日	火	Site Specific Nutrient Management(2)	かくだ			5階リフレッシュルーム	
9月27日	水	小型機械を用いた水稲の収穫(実習)	片平		高坂農場	○	8:30	ホテル 雨天時中止	9月27日	水	アクションプラン準備(6)	チューター			5階リフレッシュルーム	
9月28日	木	アクションプランに関する総合討論	チューター		5階リフレッシュルーム				9月28日	木	アクションプランに関する総合討論	チューター			5階リフレッシュルーム	
9月29日	金	最終報告審査会	大学役員、チューター、JICA		302講義室				9月29日	金	最終報告審査会、評価会議、修了書授与式	大学役員、チューター、JICA			302講義室	

J I C A 仏 語 圏

月日	曜	午 前 (9:00~12:00)						月日	曜	午 後 (13:00~16:00)							
		内 容	担 当	同行者	場 所	車	出発時間			出発地	内 容	担 当	同行者	場 所	車	出発時間	出発地
8月14日	月							8月14日	月								
8月15日	火							8月15日	火								
8月16日	水	JICAブリーフィング 10:00~12:30	JICA		TIC			8月16日	水	Project Cycle Management (1)※13:30~17:30	JOCA 木村忠		TIC				
8月17日	木	ブレイクセッション準備(1)	片平		TIC			8月17日	木	Project Cycle Management (2)※13:30~17:30	JOCA 木村忠		TIC				
8月18日	金	ブレイクセッション準備(2)	片平		TIC			8月18日	金	Project Cycle Management (3)※13:30~17:30	JOCA 木村忠		TIC				
8月19日	土				TIC			8月19日	土	Project Cycle Management (4)※13:30~17:30	JOCA 木村忠		TIC				
8月20日	日							8月20日	日								
8月21日	月	学部挨拶・大学案内・自己紹介・研修の趣旨説明・スケジュール説明、大学の施設案内	渡部副学部長・チューター		農学部1号館2階会議室			8月21日	月	プログラムオリエンテーション(JICA)	JICA		農学部1号館2階会議室				
8月22日	火	ポストハーベストの問題分析(1)	チューター		3階リフレッシュルーム			8月22日	火	ポストハーベストの問題分析(2)	チューター		3階リフレッシュルーム				
8月23日	水	ブレイクセッションの紹介	チューター		3階リフレッシュルーム			8月23日	水	ブレイクセッションの分析	チューター		3階リフレッシュルーム				
8月24日	木	圃場を中心とした稲作作業	佐々木		3階リフレッシュルーム			8月24日	木	稲作のポストハーベスト(1)	片平		3階リフレッシュルーム				
8月25日	金	収量と収量構成要素	佐々木		3階リフレッシュルーム			8月25日	金	稲作のポストハーベスト(2) / 鶴岡市長表敬訪問 16:30~	片平		3階リフレッシュルーム	○		農学部⇄鶴岡市役所	
8月26日	土							8月26日	土								
8月27日	日							8月27日	日								
8月28日	月	圃場試験計画(1)	佐々木		3階リフレッシュルーム			8月28日	月	稲と水	渡部		3階リフレッシュルーム				
8月29日	火	圃場試験計画(2)	佐々木		3階リフレッシュルーム			8月29日	火	日本の灌漑	梶原						
8月30日	水	月山ダム見学	梶原・片平		月山ダム	○	8:30	ホテル(学部経由)	8月30日	水	農業機械工場見学	片平・梶原	山本製作所	○	16:00	ホテル(学部経由)	
8月31日	木	協同農業普及事業の概要と実際の普及活動について	庄内農業技術普及課		庄内農業技術普及課	○	8:20	ホテル(学部経由)	8月31日	木	水田農業研究所の研究内容紹介	水田農業試験場 中場	水田農業試験場	○	16:00	ホテル(学部経由)	
9月1日	金	Site Specific Nutrient Management (1)	かくだ		3階リフレッシュルーム			9月1日	金	Site Specific Nutrient Management (2)	かくだ		3階リフレッシュルーム				
9月2日	土	農業機械展見学	片平		山形ビッグウイング	○	8:40	ホテル(学部経由) 13:30現地出発	9月2日	土	地域理解「致道博物館」見学		CDN 致道博物館	○	17:00	農学部経由(教員下車)→致道博物館	
9月3日	日							9月3日	日								
9月4日	月	大規模稲作見学(秋田県大湯村)					8:20	ホテル(学部経由)	9月4日	月	大規模稲作見学(秋田県大湯村)						
9月5日	火	大規模稲作見学(秋田県大湯村)	片平(バス同乗)			○		ホテル(学部経由)	9月5日	火	大規模稲作見学(秋田県大湯村)	片平(バス同乗)			○	ホテル(学部経由)	
9月6日	水	大規模稲作見学(秋田農試)							9月6日	水	大規模稲作見学(石井製作所)						
9月7日	木	適期収穫期などの重要性、適期判定法	佐々木		3階リフレッシュルーム				9月7日	木	収穫適期判定(実習)	佐々木		高坂農場	○	16:00	現地 雨天時中止
9月8日	金	営農からみたJAの役割について	JA鶴岡(宮守)		3階リフレッシュルーム				9月8日	金	JA鶴岡施設見学	JA鶴岡(宮守)	茄子川	JA鶴岡	○	13:30	農学部、現地発16:00
9月9日	土								9月9日	土							
9月10日	日								9月10日	日							
9月11日	月	アクションプラン準備(1)	チューター		3階リフレッシュルーム				9月11日	月	米の食味試験	榊ファームフロンティア 藤井、茄子川		農学部1号館2階会議室			
9月12日	火	松ヶ岡開墾記念館見学	茄子川		松ヶ岡開墾記念館	○			9月12日	火	酒田米菓見学	茄子川		酒田米菓factory	○	16:00	現地発 学部経由
9月13日	水	米のカビ汚染防止のための管理	小林		3階リフレッシュルーム				9月13日	水	高坂農場圃場見学	小林(自家用車移動)		圃場(高坂農場)	○	13:00	現地発16:00 雨天決行
9月14日	木	アクションプラン準備(2)	チューター		3階リフレッシュルーム				9月14日	木	アクションプラン準備(3)	チューター		3階リフレッシュルーム			
9月15日	金	アクションプラン中間報告	チューター		3階リフレッシュルーム				9月15日	金	小型機械を用いた収穫調整(実習)	かくだ		高坂農場	○	16:00	現地 雨天決行
9月16日	土								9月16日	土							
9月17日	日								9月17日	日							
9月18日	月								9月18日	月							
9月19日	火								9月19日	火							
9月20日	水	水田の害虫、防除、生態系～日本と東南アジア	佐藤智		3階リフレッシュルーム				9月20日	水	小型機械を用いた水稲の収穫(実習)	片平		高坂農場	○	16:00	現地 雨天時中止
9月21日	木	日本の稲作の農業機械化(1)	片平		3階リフレッシュルーム				9月21日	木	日本の稲作の農業機械化(2)	片平		3階リフレッシュルーム			
9月22日	金	籾摺り機の性能評価(実習)(1)	片平		1257実験室				9月22日	金	籾摺り機の性能評価(実習)(2)	片平		1257実験室			
9月23日	土	わんぱく農業クラブ	佐々木(←自家用車で移動→)	かくだ	高坂農場	○	8:30	ホテル、大雨中止	9月23日	土							
9月24日	日								9月24日	日							
9月25日	月	稲生理生態の基礎と栽培技術	茄子川		3階リフレッシュルーム				9月25日	月	アクションプラン準備(4)	チューター		3階リフレッシュルーム			
9月26日	火	水分と品質測定(実習)(1)	Tung先生、片平		1509実験室				9月26日	火	水分と品質測定(実習)(2)	Tung先生、片平		1509実験室			
9月27日	水	アクションプラン準備(5)	チューター		3階リフレッシュルーム				9月27日	水	アクションプラン準備(6)	チューター		3階リフレッシュルーム			
9月28日	木	アクションプランに関する総合討論	チューター		3階リフレッシュルーム				9月28日	木	アクションプランに関する総合討論	チューター		3階リフレッシュルーム			
9月29日	金	最終報告審査会	大学役員、チューター、JICA		302講義室				9月29日	金	最終報告審査会、評価会議、修了書授与式	大学役員、チューター、JICA		302講義室			